

なんとなく・・・を知識に変える。介護福祉職のための入門的研修シリーズ

介護の寺子屋



再開のご挨拶

介護の寺子屋は、本島中部で 2018 年から始まった介護職員のための勉強会です。沖縄県の高齢者福祉を支え、コメディカルチームの一翼を担う介護福祉職ですが、必ずしも学校などで学ぶわけではない介護福祉職では、他職種と比して圧倒的に知識量の差が生じてしまいます。

地域での医福連携が動き始めた当時、その輪の中で介護職が十分な知識を持って日々の介護業務に取り組めば、他職種とのコミュニケーションが促進され、より的確な判断ができることによって、最終的に介護保険利用者である高齢者の方々の利益になると考え、毎月一回の勉強会を立ち上げました。

これまでに扱った内容は、バイタルサインの見方から始まり介護美容、お看取り、訪問看護との協働、介護職が知るべき薬の知識、認知症の理解についてなど多岐に及びます。

講師には県内で活躍されている医師や薬剤師をはじめとしたスペシャリストの皆様を引き受けていただき、講義では極力専門用語を使わず、入門的な内容で展開をお願いしました。

新型コロナウイルスの影響から開催を中断していましたが、この度再始動を行い、内容も 60 分から 90 分に拡大しました。わかりやすさはそのままに、より実践的な講義を通して、「なんとなく。。。を知識に変える」というテーマを追求していきます。

沖縄県の介護福祉職のレベルアップに貢献したい。

自信を持って仕事に励んでもらいたい。

ここでしか受けることができない研修会シリーズ「介護の寺子屋」

再開します！